

# 高額米軍海外基地 上位4位が日本

**総額20兆円 思いやり予算で資産膨張**

米軍の海外基地のうち最も高価な基地の上位4位までを在日米軍基地が占め、資産評価額の総額は約1473億7580万ドル（約2兆6633億円）＝「ドル140円で計算）に達する」とが、米国防総省がこのほど公表した2022会計年度版「基地構造報告」で分かりました。総額で第2位のドイツの約3倍、3位の韓国の約4倍に達します。

↓関連2面

■米海外基地・資産評価額上位（単位：100万㌦）	
①嘉手納（日本・沖縄）	19670
②横須賀（日本・神奈川）	13651
③岩国（日本・山口）	13642
④三沢（日本・青森）	12403
⑤キャンプ・ハンフリー（韓国）	12015
⑥横田（日本・東京）	11339
⑦アンダーセン（米領グアム）	11317
⑧グアム海軍基地（米領グアム）	9656
⑨キャンプ瑞慶園（日本・沖縄）	8124
⑩グアンタナモ（キューバ）	7652

※2021年9月現在。米領グアムを含む  
\_\_\_\_\_部分は日本政府の予算が投入された基地

基地別みると、嘉手納（沖縄県）が米軍の海外基地で最も資産評価額が高く、約196億7024万ドル（約2兆7533億円）と突出。横須賀（神奈川県）、岩国（山口県）、三沢（青森県）と続き、横田（東京都）が6番目に入っています（表）。中でも嘉手納は、面積でもトップであり、名



嘉手納基地を離着陸する外飛機のF/A-18戦闘攻撃機＝4月21日、沖縄県嘉手納町

## 沖縄・嘉手納が突出

基地といえます。

資産評価額は、別の場所に同じ基地を建設する場合にかかるコストを、基地内の建物の件数や面積などで計算。地価は含まれていません。日本政府は毎年、世界に例のない米軍「思いやり予算」などで施設を新設・改修しているため、必然的に評価額が上がりります。たゞ、米領グアムの基地も資産評価額が急上昇。

基地別みると、嘉手納（沖縄県）が米軍の海外基地で最も資産評価額が高く、約196億7024万ドル（約2兆7533億円）と突出。横須賀（神奈川県）、岩国（山口県）、三沢（青森県）と続き、横田（東京都）が6番目に入っています（表）。中でも嘉手納は、面積でもトップであり、名

も国際的にもほかに例がありません。資産評価額上位10位中8基地に日本国民の税金が使われ、米軍の海外基地網を財政面で支えてい

# 大規模基地 日本に集中

一面報道の米国防総省「基地構造報告」では、資産評価額24億1500万ドル（約20000億円）で計算）以上を「大規模基地」に分類しており、海外では35基地が該当します。このうち約16が日本に集中しており、割にあたる480の基

り、他の米同盟国と比較して突出している」とが分かりました。

同報告によれば、米国は海外領などを含め、43の国・地域に44の海外基地を置いています。そのうち約9割にあたる480の基

地を資産評価額が低い「小規模基地」に分類。大規模基地は件数でみればわずかであり、その多くが日本に集中しているのです。

ておもつた。しかし、平賀の左近が駐留してゐる、よりは半權を書じみなされ、多くの國で政治路あつれね

生じ、墓地は大幅に削減されました。また、海外での巨大墓石の維持には莫大（ばく）だい）なコストがかかります。

中国など周辺国の攻撃能力が大幅に向上了し、今や日本は丸ごとミサイルの射程圏内に入っています。東アジアで

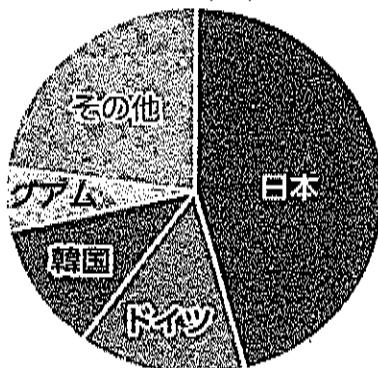
日本が本国は、米軍による軍事占領の「通産」であるはずの基地にしがみ続け、唯々諾々と基地の維持・強化費を負担してきました。

米軍が開闢する紛争が発生すれば、在日米軍基地が格好の標的にならることは明らかです。

多数の非公表基地

教授の聲

## 米軍の「大規模」海外基地の割合



米国防総省が「大規模基地」に指定した在日米軍基地

【本土】三沢（青森）、横田（東京）、  
横須賀（神奈川）、厚木（同）、吾妻  
倉庫地区（同）、キャンプ座間（同）、  
岩国（山口）、佐世保（長崎）、横瀬  
貯油所（同）、鷹崎貯油所（同）

【沖縄】嘉手納、キャンプ瑞慶覧、  
嘉手納弾薬庫、キャンプ・ハンセ  
ン、キャンプ・キンザー、普天闇

米空軍横田基地（東京都  
福生市など）。廻上  
見える米軍家族住宅  
の多くは、日本の「廻  
いやう子算」で建設



# 「抑止力」どころか今や標的